

第2次いのちを支える清瀬市自殺対策計画（案）の策定に関するパブリックコメントの実施結果について

1 概要

令和8年1月5日から令和8年1月31日までの間、第2次いのちを支える清瀬市自殺対策計画（案）に対する意見募集を行った結果、下記のとおりご意見をいただきましたので、清瀬市パブリックコメント実施要綱第8条及び第9条の規定により本市の考え方を公表いたします。

2. 結果について

- (1) 意見提出数 1人
- (2) 意見の件数 6件

第2次いのちを支える清瀬市自殺対策計画に係るパブリックコメントと回答について

番号	意見等の概要	意見件数	回答	反映箇所
1	<p>このパブリックコメントに要望です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと世の中を良くしたい。学校の生活も自由に、居心地のいいものにする。今はいい状態ではありません。 ・自殺状況の分析をしっかりとすることが大事なのではないでしょうか。・・死んでしまったのでわからない。の回答でいいのでしょうか。 ・自殺についての学習会・懇談会を計画してください。 ・子どもたちと話し合う機会を、子どもと一緒に議論しながら「子ども議会」とでもいうのでしょうか。自分たちの立場での 「子ども権利条例」をつくることで、子どもたちの意識を高め、これでいいんだという安心感をもたせたい。 ・悩みが話せる気楽な相談部が欲しいです。学校ならば、第3者的な臨床心理士・スクールカウンセラーを各学校に配置する。 <p>毎日常勤の形です。週1日では足りません。予算をつけましょう。いのちの重みには代えられません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを追い詰めるものを増やさず、自分が主人公、判断できる余裕のもてる教育課程にする努力を行政も学校も考える必要を指摘します。 	6	<p>清瀬市では、自殺対策を推進するため、保健・医療・福祉・教育などの関係機関で構成する連絡協議会や、庁内の推進リーダーによる連絡会を通じ、最新の社会情勢や状況を共有しながら取り組みを進めております。本計画では、人生のあらゆる場面で悩みを抱える方々を支援するため、6つの重点施策を掲げており、中でも未然防止の観点を重視して「SOSの出し方に関する教育」を推進してまいります。また、「子ども・若者・子育て世代への支援」をはじめとした施策を積極的に進める一方、関係各所での密な連携を図りながら支援体制の充実に努めてまいります。さらに、自殺の実態を把握し対策をより効果的なものとするため、統計データを活用して情報収集と分析を行っております。</p> <p>今後も、子どもを含む全ての市民の命と心を守るため、自殺対策に全力で取り組んでまいります。</p>	追記・修正なし